

**9月議会 2021年度決算審査と補正予算の審議**  
**第4次総合計画(2023年度~2030年度)は定住人口の維持・回復を目指せ**

**日本共産党  
静岡市議会議員団**

**ニュース**

2022 - No.2

日本共産党静岡市議会議員団  
 議員控室 TEL 054-254-2111 (内) 4541  
 FAX 054-272-4695  
 アドレス http://www.jcpss.jp/  
 メール yk5f5@jcpss.jp

9月定例会市議会が9月9日(金)から10月12日(水)の日程で開催されています。

9月補正予算(案)は、一般会計が95億6200万円余、特別会計は21億7600万円余で総額117億3800万円余の増額です。

- 一般会計補正予算の特徴**
- ① **新型コロナウイルス感染症対策** 約44億3830万円
    - ・ワクチン接種、コールセンター、予約支援、高齢者移動支援「らくタク」
    - ・感染症入院患者の医療費自己負担額への助成
    - ・医師が自宅療養者への健康観察を行う経費の増額
  - ② **原油価格・物価高騰等対策** 19億7703万円
    - ・中小製造事業者へ電気料金高騰分の一部を助成
    - ・運送事業者、一般廃棄物収集運搬業者、公共交通事業者へ燃料費の一部を助成
  - ③ **賑わいの創出** 1億3180万円
    - ・市民のイベント開催への助成
    - ・家康の大河ドラマに伴う家康公ビールの開発
    - ・お堀の葵船を1艘増設するための事業
  - ④ **その他(債務負担行為)** 20億7385万円
    - ・道路照明灯LED化事業など

9月議会は2021年度の決算も審議します。決算額は歳入3,643億2355万円余、歳出3,548億3469万円余で、翌金への繰越し29億6499万円余を除いた実質収支は65億2386万円余のプラスでした。その内26億円を財政調整基金に積み立て、基金残高は116億円余となりました。コロナ禍の2年目、市民に寄り添った財政運営だったか、しっかりと検証することが求められます。

**9月定例会会議日程 各常任委員会日程**

会期：9/9~10/12 (34日間)  
 会場：静岡庁舎本館  
 開会：午前10時から

○本会議(議案上程) 9/9(金)	○常任委員会 9/27(火)・28(水)
○総括質問 9/20(火)	・厚生委員会
9/21(水)	・観光文化経済委員会
9/22(木)	・都市建設委員会
○本会議 (議案質疑・討論・採決) 10/12(水)	9/29(木)・30(金)
	・総務委員会
	・企業消防委員会
	・市民環境教育委員会

※本会議(総括質問)は静岡市ホームページから視聴できます。

**9月議会での質問内容と日程予定** —9月20日(火)・21日(水)・22日(木)—

**代表質問**

**寺尾 昭議員**

9月20日(火)

午後2時20分頃から



**旧統一協会と市長・市行政との関わりを質す**  
 党市議団は8月10日田辺市長に旧統一協会と市長自身や市行政との関わりについて調査を行うよう申し入れました。過去10年間で市が後援、共催、交付金の支出を対象にした調査で、9月7日「なかった」という結果が公表されました。それ以前の事例や市の関連団体との関わりなどについての調査を行うこと、今後一切関係を持たないことなど市長の見解を質します。

また、4次総の定住人口目標は数値を明確にすることや1000億円規模が予測される大規模ハコモノ建設と財源問題、コロナ対策、NPT再検討会議についても質します。

**総括質問**

**杉本 まもる議員**

9月21日(水)

午後2時頃



**1. 第4次静岡市総合計画基本構想・基本計画原案について**  
 静岡市は2023年度からの8年間の市政の方向を決める第4次総合計画を策定中です。日本共産党市議団は、定住人口の維持・回復を4次総での目標の柱に据えることを提案しています。この立場から、市民意見の反映、定住人口の維持・回復、出生率の向上、まちづくりについて市の考えを質します。

**2. 中小企業・小規模企業支援について**  
 今、原油価格・物価高騰で中小業者は疲弊しています。9月補正予算で影響を受ける製造業や運輸業などへの支援が示されていますが、幅広く支援するよう質します。

**総括質問**

**市川 正議員**

9月22日(木)

午後3時10分頃



**静岡市の水源の保全について**  
 安倍川中流域に中部電力水力発電所の建設工事が行われています。梅ヶ島地域の入島に取水堰堤を設置し、有東木まで4.6kmの導水管により最高出力4700kwの発電を行います。計画では取水量毎秒7t、常時放流量毎秒0.4tとなっていて、堰堤から発電所までの水量減少が周辺環境に与える影響について質します。

また、同じ山塊での中部横断自動車道のトンネル工事では、自然由来の重金属類が検出されました。尾根の反対側斜面でも重金属類含有の可能性が想定されることから、掘削残土の環境影響などについて質します。

**総括質問**

**内田りゅうすけ議員**

9月22日(木)

午後3時30分頃



**市長の政治姿勢について**  
 田辺市政は、津波浸水想定区域への桜ヶ丘病院の移転計画・新清水庁舎建設など重要な計画に対し、住民の声をしっかり聞いて行政運営に反映させるという点で問題があります。最たるものは、清水庁舎移転に関する住民投票への姿勢です。署名は、地方自治法で定める必要数の4倍を超える53,000名分が集まりました。しかし、田辺市長は、議会に提案した議案に住民投票は必要ないと明記しました。こうした市民の声を無視し続ける市長の政治姿勢を質します。

その他、安倍元首相の国葬について質し、高齢者・低所得者対策としてエアコン設置に対する助成制度を設けるよう提案します。